

## 埼玉親善大使レポート

ロシア(モスクワ) / チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院 寺根佳那

私は、モスクワ音楽院に留学しました。住居は、モスクワ音楽院の学生寮です。古い学生寮には、トイレには便座と紙が無く、それがロシアでは一般的だと知りました。

留学後、2018年9月下旬頃に新しい寮が完成しました。古い寮に比べると生活面は改善されましたが、当然浴槽は無くシャワーのみの生活です。一般家庭においても、ロシアでは水回りに関する問題が多い印象を受けました。新しい寮は、新築にも関わらず、シャワーを使用する度にどこからか水漏れが始まり、部屋が一部浸水状態になります。

また6月には、点検などの事情で、地域一帯、お湯が使用出来ない時期がありました。2週間全くお湯が出ない時期があり、蛇口から泥水が出てきたこともありました。至る所で、新築とは思えない杜撰な作りで、その状態に慣れるまで少し時間がかかりました。

日常生活においても、日本人との国民性の違いを感じる事が多々ありました。例えば、食品スーパーマーケットにおいて、モスクワではレジの店員さんは大概無愛想です。購買者が列をなして並んでいても、彼らは自分が今したいこと(水分補給など)や、自分の昼休みの時間を優先します。それは、音楽院の教務課においても変わりません。長い昼休みの時間を彼らはとても大切にします。日本のように、お客様を第一に考えるという傾向は全くありません。

また、期日通りに物事が進むことは珍しいです。モスクワでの生活は、毎日何かしらのハプニングやトラブルがあつて当然で、一旦日本での常識は忘れた方が身の為だと感じました。また、ロシア人は基本的に謝りません。これは、日本人にとって理解し難い面も多々ありました。

気候は、冬の寒さは大変厳しいもので、 $-20^{\circ}\text{C}$ 前後の日も多々ありました。ロシア人の先生や友人は、 $-10^{\circ}\text{C}$ 台では寒いとは感じないと口を揃えて言いました。特筆すべきは、夏と冬の気温差です。ロシアの冬は長く、4月中旬まで雪は降りましたが、5~6月には $30^{\circ}\text{C}$ の日も多々ありました。

ロシア人は、親しくなると優しく親切な方も多かったです。ロシア人は、色彩感覚が独特で、紫色の洋服を着ている方や、鮮やかな色を着こなしている方を街で頻繁に見かけました。これは私自身、紫色が一番好きな色なので、特に感じたことですが、ロシアには紫色の品や洋服などが日本に比べて大変多かったです。

ロシア語の授業で習ったことですが、ロシアでは赤色が最も美しい色とされています。有名な赤の広場も、ロシア語ではクラスナヤプロシャチと言います。直訳すると美しい広場です。そして、赤色のロシア語自体も美しい色となっています。

モスクワ音楽院は、モスクワの中心部に位置します。現在のモスクワの街並みは大変美しいです。私は、モスクワ音楽院研究科で、エレナ・リヒテル教授に師事しました。モスクワ音楽院内のコンサートホールであるマーリーザールでのレコーディング、憧れのラフマニノフでのコンサート出演、ミャスコフスキーホールでのコンサート出演などをさせ

ていただき、大変充実した日々でした。また、2018年はロシアにおける日本年でした。私は、在ロシア日本大使館主催、ロシアにおける日本年2018 風雅「日本の美」オープニングコンサートに出演させていただきました。ロシア人民芸術家からなる著名なモスクワ・クワルテットの方々ともジョイントでコンサートに出演し、貴重な経験が出来ました。

昨年11月には、日本政府主催・日仏友好160周年記念ジャポニスム2018にて、メイクアップアーティストの一條先生からオファーをいただき、ザ・ジャポネーズ KIMONO MAKE UP SHOW に、ショーモデルとして出演させていただきました。フランスのルマン市での公演と、パリ市での2公演に出演しました。ルマン市でのパリデングレ文化会館大ホールでの公演は、2日間で1万人動員したそうです。今回、日本の美をテーマにしたもので、私も大振袖を着ました。フランスでも、日本文化に関心を持って下さっている方がとても多く、日本人であることを誇りに感じました。

また今年4月には、世界三大音楽院の名誉教授であるガブリエル・タッキーノ氏に招致され、イタリアの音楽祭に出演しました。

チェルボ国際音楽祭(イタリア)にて、タッキーノ教授や音楽祭の音楽監督からの推薦を受け、クロージングコンサートにおいて、トリで演奏させていただきました。イタリアのチェルボにあるサンタ・カタリーナ教会で演奏しました。また、イタリアのテレビ、Imperia TV にピアニストとして取り上げていただきました。

ロシア、フランス、イタリアにおいて、海外においても日本や日本文化の評価の高さ、を改めて実感しました。世界で一番美しい民族衣装は着物だと沢山声をかけていただきました。また、日本でどこに住んでいるのか質問される度に、埼玉県について話しました。ロシア人は、花がとても好きです。モスクワでも、街中に花屋があり、24時間営業の花屋も多いです。私は、ロシアでは埼玉県の私が好きな花の観光名所を中心に紹介しました。埼玉県日高市の曼珠沙華の里「巾着田」、秩父の羊山公園の芝桜の丘、行田市の古代蓮の里など、私が毎年訪れている好きな場所の写真を見せました。彼らは、「とても美しい場所が沢山ある素晴らしいところに住んでいるね」と感心していました。

ロシア語の授業のクラスメイトであるデンマーク人、イタリア人、中国人の友人たちも日本が大好きで、埼玉県のことによく質問してくれました。彼らとは、埼玉の美味しい食べ物、2020年のオリンピックについて語り合うことが多かったです。

ピアノの修了試験では、5段階評価の5をいただき、モスクワ音楽院研究科を最優秀で修了することが出来ました。成績優秀者として卒業セレモニーであるディプロマ授与式で、代表で演奏させていただきました。

来年5月に大手レコード会社のレーベルからCDのリリースが決定しています。私は、この度埼玉発世界行きの奨学生に選んでいただき、一年間感謝の気持ちを忘れたことはありませんでした。素晴らしい機会をいただき、今まで全く知らなかった世界を数多く見ることが出来ました。今回の留学経験を活かして、積極的な活動を続けていきたいと思えます。